いけらば念仏の御和讃 →= 60ぐらい 松 濤 作曲 基 \times \times 〔斉唱〕いけ ŋ 死なば 死な ば \times \times な \times は お



いけらば急仏和讃

法 然 上 人 御作

いけらば念仏の 功つもり

死なば浄土へ まいりなん

(死なば浄土へ まいりなん)

とてもかくても 此の身には

思いわずろう 事ぞなき

(思いわずろう 事ぞなき)

と 思いぬれば

死生共に わずらいなし

(死生共に わずらいなし)

南無阿弥陀仏

南無阿弥陀仏

南無阿弥陀仏

南無阿弥陀仏

南無阿弥陀仏

(楽譜は66ページ)

ポイント注意 宗祖法然上人御作の唯一の「和讃」であり、大切なお訓しです。心をこめて力強くお唱えします。

「死生共にわずらいなし」は最も大切なところ、一回めは強声から次第に小さく、二回め中位の声から「わずらい」と最強に「なし」と断定します。それを受けて、平常のお念仏口調で、心からの感謝のお念仏となります。

「ことぞなき」の「き」の」は半拍で声をきります。

/吉水流として念仏はねぶつ、死〉 生はししようの発音とさせ て頂きます。